

リテール&プリンティング

Retail and Documentation Solutions

従来の事業展開で獲得した独自技術とフィジカルアセットの活用や、顧客・開発パートナーとの共創により、変動する社会環境に合わせた製品・サービスを開発しています。消費者の多様化や作業従事者の省力化に配慮したPOS（販売時点情報管理）システムや、伝票処理を効率化する事務機器、クラウドサービス技術を活用したプリントサービスなどで、人々の生活や業務の利便性・快適性向上を支えています。

■ 多様な顧客のアプリケーションに対応可能な小型サーバー XP-9800



XP-9800
XP-9800 small high-performance server

店舗サーバーシステムに適した小型サーバーとして、XP-9800を2024年10月にリリースした。前機種のXP-9500からのリプレースが可能な後継機として設計されている。

縦置き、横置きの両方に対応し、設置スペース、静音性は同等を維持しつつ、表示インターフェースは新たにHDMI™の仕様に対応した。Intel™社製の第12世代デスクトップ向けCPUを搭載し、OS（基本ソフトウェア）には最新のWindows™ Server IoT 2022 Standardを採用した。メモリーは従来機種種の2倍に増強され、快適な操作とより多様な顧客のアプリケーションに対応できるようになった。また、UPS（無停電電源装置）とRAID（Redundant Array of Inexpensive Disks）を内蔵し、ECC（Error Correcting Code）機能付きメモリーの搭載により高信頼性を確保している。Intel™社のMECA（Modular Edge Computing Architecture）規格を採用しており、CPUボードを最大二つ独立して搭載できる構造となっている^{（注）}。更に、最新の省エネルギー法及び改正RoHS指令（有害物質使用制限指令）に準拠している。

（注） 今回のリリース対象は、一つのCPUボードだけ搭載する機種。

東芝テック（株）

■ 操作性と運用効率を向上させた現金会計セルフレジ SS-N1G・会計専用機 SS-N1K



現金会計セルフレジ SS-N1G
SS-N1G self-checkout kiosk

会計専用機 SS-N1K
SS-N1K cashier terminal

量販小売店向けのセルフレジとして、既にリリースしたキャッシュレス専用のSS-N1Cに続けて、現金会計にも対応したSS-N1G、及び会計専用機のSS-N1Kを、2024年2月にリリースした。

これらの機種は、新たに開発したセルフレジ専用釣り銭機を搭載している。

買物客の操作性を向上させるために、これまで分散していた硬貨と紙幣の入金口、出金口の配置を、入金と出金でそれぞれまとめて一目で認識できるようにしたことで、位置を迷うことなく操作できるようになった。また、硬貨と紙幣が同じ場所で出金されるため、釣り銭の取り忘れ防止にもつながる。

更に、店舗アテンダント係の負担を軽減するために、従来機よりも釣り銭収納庫の容量を増やした。1日稼働しても補充・回収作業は不要で、運用を止める必要がない。加えて、庫内の釣り銭枚数を自動精査する機能を備えたことから、万一エラーなどで有り高が不確定となった場合にも容易に再集計できる。

東芝テック（株）

■ 多様な周辺機器と連携可能なフレキシブルターミナル MP-N1A



MP-N1Aの運用例
MP-N1A flexible terminal with printer

コンパクトなボディと拡張性を備えたプリンター内蔵型フレキシブルターミナルMP-N1Aを2024年9月にリリースした。

MP-N1Aは、自由に設置して多彩な用途で様々な機器を利用するためのデバイスハブとして機能させることができる。高効率・低消費電力のCPUを採用し、OS（基本ソフトウェア）にはWindows™10 IoT Enterprise LTSC 2021を搭載しており、タブレットと組み合わせて使用できる^(注)ため、多彩なサービスで利用可能である。タブレットを載せたり、本体とタブレットを離して設置したりと、店舗のレイアウト、販売スタイルに合わせて自在に使用できる。Windows™のテザリング機能により、アクセスポイントとして利用することでタブレットとの通信が可能である。また、USB (Universal Serial Bus) やシリアルポート、ドローポートなど、豊富な汎用インターフェースを搭載しており、様々な周辺機器との連携で、多彩なテナント運用を実現する。

(注) タブレットは製品に付随していない。

東芝テック(株)

■ 商品登録漏れ通知機能を搭載した売り場移動型セルフレジシステム

リ
テ
ー
ル
&
プ
リ
ン
テ
ィ
ン
グ



ピピットセルフ（カートタイプ）
Shopping cart with Pipitself self-checkout system

店舗の売り場で顧客自身が商品バーコードをスキャンすることで、購入品登録をしながら買い物ができる、ショッピングカート型セルフシステムのカート型端末として、当社は“ピピットセルフ（カートタイプ）”を製品化しているが、今回、新たに開発した二つの機能を追加してリリースした。

一つ目は、製品内蔵バッテリーの充電機能である。現行製品では表示ユニットなどを駆動させるために内蔵されているバッテリーを店舗閉店後に取り出して1台ずつ充電する必要があった。新製品では、製品自体を専用電源に連結して接続することで、内蔵のバッテリーを製品から取り出さずに、最大10台まで同時充電可能である。

二つ目は、カゴ内重量の測定機能である。カゴ内の重量を測定できる計量センサーを内蔵しており、上下のカゴの重量を測定することで、顧客が商品のスキャンを忘れてカゴに入れてしまった場合などの商品登録漏れを、ポップアップ表示で通知する機能を搭載している。意図せず万引きになる可能性に対する顧客の不安感が取り除かれ、快適に製品を使用できる。



連結状態での内蔵バッテリーの同時充電
Simultaneous multiple Pipitself-equipped shopping cart charging

東芝テック(株)

■ 複写伝票発行専用機事務コン SJ-9500



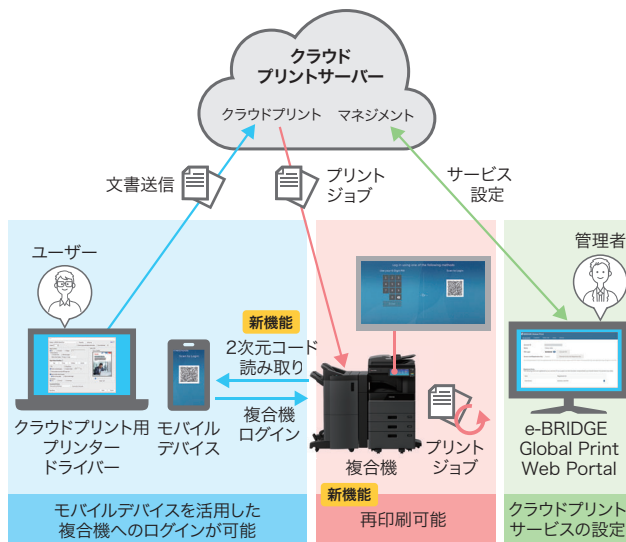
SJ-9500
SJ-9500 multifunction business computer with printer

複写伝票発行専用機として40年以上のロングセラー商品である“事務コン”の新製品、SJ-9500を2024年11月にリリースした。

事務コンはドットインパクトプリンターとパソコンを一体化した省スペース型の複写伝票発行専用機であり、当社独自のプログラム言語“Steplan”により柔軟性が高いカスタマイズが可能であることから、幅広い業種の顧客に利用されている。SJ-9500は、ストレージをSSD（ソリッドステートドライブ）化し、搭載メモリーを前機種の4Gバイトから8Gバイトに増量し、エンジンボード（CPU・チップセット）を世代更新して起動時間を前機種に対し約30%短縮した。また、アプリケーションの処理速度も約20%の向上を実現した。更に、組み込みOSをWindows™10 IoT Enterprise LTSC 2021にバージョンアップしたことで、長期間の保守対応が可能になった。外観は、カラーリングの配色を変更することで従来機種からのイメージチェンジを図った。

東芝テック（株）

■ モバイルデバイスを活用した複合機ログインや再印刷を可能とするクラウドプリントサービス e-BRIDGE Global Print



新機能 :バージョンアップにより強化された機能

e-BRIDGE Global Printのログイン・再印刷時の利便性向上
Overview of e-BRIDGE Global Print with improved login and reprinting convenience

当社クラウドサービス普及の第一歩としてリリースしたe-BRIDGE Global Printは、どこから文書を送信しても、インターネットに接続された複合機で印刷できることを特長とする。

今回、以下のような機能強化を行い、ユーザーに対してサービスの利便性を向上させた。

- ・ モバイルデバイスを活用した複合機ログイン機能 ユーザーはログイン用のPIN（暗証番号）を入力することなく、手持ちのモバイルデバイスで複合機に表示された2次元コードを読み取って複合機にログインできるようになった。
- ・ 再印刷機能 同じ原稿を複数回印刷する際、クライアントからの印刷操作を実行することなく、MFP（複合機）上の操作だけの再印刷が可能になった。

今後は、出力管理の機能改善やユーザー管理者の設定作業の省力化に寄与する機能などを提供することで、当社の主要顧客層である中小企業への更なるサービス普及を目指す。

東芝テック（株）